

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年2月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690500048
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム てね
所在地	鹿児島県いちき串木野市上名5050番地1 (電話) 0996 - 33 - 2210
自己評価作成日	平成30年1月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年2月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・H27年4月より敷地内に児童発達支援センターと保育所、就労支援施設等の障害者施設が開設し、子供達やサバイバーの方と交流を図っている。
- ・毎朝申し送り時に理念を復唱し、理念に沿ったケアが出来るように取り組んでいる。
- ・年4回のホーム便り(てね便り)発行し、地域の方や家族の方に配布を行っている。
- ・四季の行事を行ったり、年に1回、誕生日の月に本人と家族の要望を取り入れた、わがままdayを実施したり生活リハを取り入れながら生きがいを見い出し、今を楽しく生活できるように支援している。
- ・地域や家族、同法人内施設で協力してペットボトルキャップを収集し、ボランティア活動を行っている。
- ・地域でころばん体操に参加したり、毎月1回ホームに来て下さりころばん体操を実施している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、母体が医療機関であり24時間医療連携体制が整っている。同敷地内には保育所・児童発達支援センター・就労支援施設があり交流を図っている。
- ・ホーム行事の避難訓練・炊き出し訓練・茶話会に地域住民の参加がある。公民館行事の運動会・六月灯・十五夜・餅つき大会に参加したり、母体法人の行事の運動会・夏祭り・他障害者との交流会等にも、利用者や住民も多く参加している。地域とのふれ合いの中で共に支え合って暮らす支援が行われている。
- ・外出支援で年間計画を立てて多くの行事を実施している。歩行困難な利用者にも支援が行き届き、花見・そうめん流し・誕生日のわがままデーの導入・レクレーションなど、生活リハビリや職員とあくまき作り等、利用者の元気につながっている。
- ・年4回の『てね便り』を家族や地域に配布して運営推進会議の報告や認知症の知識を伝えている。家族会ではビデオで利用者の日常生活や取り組みを伝えている。
- ・管理者は職員の資格取得に協力的で、職員間のコミュニケーションが良く、温かい介護サービスを提供しており利用者の安心につながっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	当事業所の理念を、各ユニット毎に掲示している。毎朝朝礼時に、出勤している職員で復唱し、意識付けを行った上で、ケアを実践している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を、ホールに掲示し、パンフレットにも掲載している。朝礼の時、唱和して意識づけしている。家族会等でビデオを映して、日常のケアを振り返り、確認して実選につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域への参加や当事業所への参加を促し、それを通じて交流の機会を持っている。ペットボトルキャップ収集によるリサイクル活動にも、地域の協力を得られている。	自治会に加入して、回覧板で地域の情報収集や伝達を行っている。地域行事の六月灯・運動会・餅つき大会・鬼火焚き等に参加し、清掃活動で事業所周辺のゴミを集めたりしている。ホームの行事に地域住民の参加がある。敷地内保育園児のハロウィンの訪問やボランティアとの交流もあり、地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	当事業所で作成している、「てね便り」を、自治会回覧板を介して提供している。その中には、認知症やケアに関する事や、施設での取り組みの報告を掲載し、地域の方々に理解を得られるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では、当事業所職員からサービスの実施や、入退去状況収集の報告を、毎回行っている。問題点については、参加者からの提案や助言等の積極的な意見を得られており、サービスの改善や向上に活かされている。</p>	<p>会議は定期的開催している。ホームの現状や行事予定・行事報告・外部評価の結果報告・避難訓練・食中毒・身体拘束など検討事項を取り上げ意見交換している。『外灯が切れている』との助言があり、出された意見は、即座に改善してサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>当事業所の運営に関する事などについては、疑問点があった際には、市担当者や直接または、電話にて問い合わせを行なっている。また、市が主体となるアンケート調査については、迅速に対応が出来る様に努めている。</p>	<p>市担当者とは、窓口に出かけたり、電話で相談してアドバイスを受けている。運営推進会議でも状況を伝えたり、アンケート調査の協力や介護相談員の受け入れも行っている。ボランティアの受け入れ状況等を伝えながら協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人内及び当事業所において、定期的に身体拘束に関する勉強会を開催しており、職員は積極的に参加をしている。加えて、日常のケアにおいて、どういった事が身体拘束に該当するかを理解した上で、それを行わない様に努めている。</p>	<p>マニュアルを作成している。身体拘束に関する勉強会を、法人で年1回、内部研修は年3回実施しており、身体拘束の禁止になる具体的な行為を理解している。言葉による拘束も配慮している。日中は玄関の施錠はしていない。外出希望者は職員が同行して寄り添っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>法人内で外部の方を招いて、高齢者虐待の勉強会を開催し、当事業所職員の殆どが参加し、学ぶ機会を得ている。入居者のケアに当たっては、日頃から職員間でどのような事が虐待に該当するかを、意識して行なっている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活支援事業や、成年後見制度については、法人内外の研修や勉強会により、学ぶ機会を得ている。必要性については、適宜検討している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>十分な説明を行い、納得して頂く為に、こちら側から疑問に思われる点などについて、積極的に尋ねるなど努力している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日々の活動の中で、入居者の意見や希望など傾聴し、出来る限り反映する様に努めている。職員間やご家族と相談等行い、取り組んでいる。</p>	<p>利用者からは、日常のケアの中での言動で思いを把握している。家族からは面会など機会がある時、意見や要望を聞いている。『自分で作った味噌で味噌汁を食べたい』の要望に、家族と相談して対応した。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎朝の朝礼や、全体会議・フロア会議を行い、職員間での情報共有に努め、業務を行なっている。</p>	<p>職員朝礼や全体会議・フロア会議の時に意見や提案を聞いている。献立の変更やトイレ支援の件等、提案が出され対応している。個人面談も行っており、資格取得についてや年間計画に関する事など、意見・提案は運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員各々の状況把握に努め、各々に考慮した勤務体制を行なっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内研修や外部研修への参加の機会を設け、職員の能力向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加盟している。グループホーム間の交流会を定期的に行い、情報交換の場を設け、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居者入居時に、ご本人ご家族から情報を聞き取りを行い、少しでも早く安心して頂ける様に、本人の思いや考えを把握する様、努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>事前に十分な説明を行なうと共に、その後も不明な点があれば、すぐに説明対応が出来る場を設けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>面接時、入居において、本人とご家族を支援していく上で、必要としている支援内容を話し合い、検討し対応をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共に暮らすと意識を持ち、会話の中で色々な事を教えて貰ったり、学んだりする事により、ご本人との関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	季節の衣替えや、外出・外泊時、また施設での行事等で、ご家族との交流の機会を設け、関係作りを築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の面会やご家族の面会時には、ゆっくりと過ごして頂ける場を設けている。レクリエーションや地域の行事に参加している。誕生日月には（わがままday）自宅やドライブまた墓参りなど、馴染みの関係が保たれるように支援している。	知人や親戚・孫の面会がある。お茶を出してゆっくりしてもらっている。地域の行事や餅つき大会に参加したり、ボランティアの訪問等、馴染みの知人との交流等がある。わがままデーには、自宅付近のドライブを行い町並みを見たり、墓参りや外食等行い、馴染みの人や場所との関係が、途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士のコミュニケーションが図れるように、レクリエーション等を通じて、交流を図っている。また会話の出来る場を設ける様に、努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人内に入院された際には、職員がお見舞いに伺ったり、状態把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で、入居者様の思いや希望を把握し、ケアに努めている。気付いた点は、職員間で共有し意見を出し合い、ケアに活かしている。	利用者の担当職員を中心に、日常の生活の中で連携を取り、暮らしの希望や意向の把握に努めている。全体会議やフロア会議でも、意見を共有している。困難な場合は申し送りノートの活用や、家族との連携で対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様の、フェイスシートを読んだり、ご本人との会話やご家族からの情報等、サービスの経過が把握出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活パターンから、バイタル測定・食事量・水分量・排泄等に変化が無いか確認し、残存機能を活かした介助に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の希望、ご家族の意向、主治医の意見書の意見を踏まえた介護計画書を作成し、担当者会議ではそれを元に話し合い、サービスを提供している。	日常のケアの中で、本人・家族から意向を聴き取り、主治医の意見を入れて、担当者会議で話し合い意見やアイデアを反映させた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い、状況に変化があった時は、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気付いた事があった場合には、職員間で話し合い検討し、介護記録に残す様にしている。情報共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人との何気ない雑談の内容や、状況に応じたご家族と相談の中で、より快適な空間作りが出来る様に、取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元公民館の行事（餅つき・夏祭り等）に参加している。また施設の行事に、地域の方々がボランティアとして参加され、交流を深めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	えんでん内科をかかりつけ医とし、ご本人及びご家族からも了解を得ている。職員も日頃の様子を念頭に入れ、変化が見られた場合には、えんでん内科へ連絡し、指示を仰ぐ体制作りをしている。	母体医療機関は本人・家族の了解のもとかかりつけ医となっている。体調に変化があった時は、母体医療機関へ連絡して指示を得ており24時間医療連携が整っている。受診結果は家族に連絡している。歯科は訪問診療であり、他科受診は事前に家族に連絡して適切な医療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>バイタルや体調面で、日常との変化が見られた場合、えんでん内科クリニックの看護師へ連絡し、指示を仰ぎ、適切な受診・看護が受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際、生活状況をサマリーにて提供している。入院後は面会へ行き、看護師へ状態確認を伺うなどし、情報共有に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居中に重度化した場合には、早いうちから利用者の状態をご家族に説明し、施設で出来る事を伝え支援している。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針は、入居時に書類を提示して、本人・家族に説明して同意を得ている。状況の変化により、その都度、本人・家族と話し合いを持ち、事業所でできることを伝えて対応している。医療機関に入院される等、支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時に備え、待機者を設けている。また急変や事故に対応出来る様に、緊急時のマニュアルを作成し、勉強会を行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を、年2回行っている。また地域の方々やご家族様の協力を得て、炊き出し訓練を行なっている。</p>	<p>避難訓練は年2回実施している。1回は消防署立ち合いで行っている。避難場所・避難経路・スプリンクラーの点検、消火器の使い方等。防火装置は業者が定期点検している。地域住民や民生委員・家族・法人内の職員の協力がある。2回目は自主訓練である。非常口に物を置かない。消火器の場所・避難場所の確認等を行っている。備蓄は水・レトルト食品・カセットコンロ等、用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりに応じた、声掛けを行なっている。人格を傷付けない様に配慮し、対応している。	マニュアルを基に勉強会を行っている。誇りやプライバシーを傷つけないように、トイレ誘導はさりげなく、入室時のノック、入浴介助等、羞恥心のないよう気配りして、プライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が、自分の希望や思いを話せるように、出来るだけ対話をするように、心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースに合わせて、楽しく安全に過ごせるように、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者の好みや季節に合った物を、出来るだけ提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者一人ひとりの好物を把握し、食事が楽しくなるように心掛けている。出来る範囲で片付けなども、手伝って頂いている。</p>	<p>食事を楽しむことができるよう、一人ひとりの嗜好を把握している。持病のある利用者の食事やきざみ食等、食材の形態にも配慮している。家族会・敬老会・花見等の行事食も楽しい食事である。つわの皮むき・下膳等、できることは職員と一緒にやっている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分量は、その時の利用者の状態に合わせて、お茶・スポーツ飲料にて摂れるように工夫をしている。食事量・栄養バランスも、一人ひとりの状態に合わせた形態で摂れるよう支援し、毎日を管理している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケア時、自立されている方は見守りにて状態を確認し、必要に応じて声掛けをしている。介助が必要な方は介助し、口腔内の清潔保持に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの力を維持し、個々の排泄状態に合わせた介助や、声掛けを行なっている。	排泄チェック表を作成して、個々の排泄状況を把握、羞恥心に配慮しながら、声かけやトイレ誘導を行っている。できるだけトイレでの排泄を支援している。食事にも気配りして植物繊維の多い食材を使用して、運動も取り入れている。少しでも改善できるよう努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く摂れる様に、工夫した食事の提供を心掛け、毎日軽体操も行っている。排便を確認し、必要性があれば医師の指導の元で、便秘予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの体調やタイミングに合わせて、入浴の声掛けをし、なるべく希望に添えるよう、支援している。合わせて、体の状態観察も行っている。	入浴は週に2~3回行っているが、柔軟に対応している。本人の意向に沿って、拒む利用者には無理強いしないようにしている。夏は足浴も行い、状況に応じて清拭することもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	時間帯や体調に合わせた環境を整え、安心して休息や就寝が出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一人ひとりの服薬について理解し、日々の様子観察し、変化にすぐに気づくよう努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯物畳みやお茶碗洗い等、その方が出来る生活リハビリや、一人ひとりが楽しめるよう、レクリエーションも工夫し支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>個々の体調に応じて、ドライブや敷地内の散歩などを支援している。施設での行事（花見、ピクニック、夏祭り等）地域の行事（運動会、文化祭等）にも、参加して頂けるよう支援している。</p>	<p>希望を聞いて、一人ひとりの体調に合わせて、敷地内を散歩したり外気浴を楽しんでいる。年間計画で花見・ピクニック・運動会・文化祭・そうめん流しなど、歩行困難な利用者も、法人のリフト車を使って参加している。移動販売車も来るので買い物もできて楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者の希望に応じて、使用が出来るようにしている。また月に数回の移動販売を利用して、買い物が出来るよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族や知人からの電話があった場合には、ご本人と話しが出来るようにし、また手紙が届いた際には、ご本人に手渡し読めるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールでは、利用者の不快感の無いように、温度・音・明るさ等に気を付けている。また利用者の、色塗りの絵などを壁に貼り、季節を感じて頂くよう工夫をしている。	ホールは広い窓で明るい。加湿器が置かれ温度・湿度の管理が整っている。窓際には大きなソファがあり、食後はゆっくりとくつろいでいる。台所は対面式で調理の音・匂いが食欲をそそる。壁に季節感のある利用者の塗り絵や月毎の行事の様子の写真が飾っており、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールでは、テーブルやソファがあり、外を見たりテレビを観てくつろがれる。またカラオケをされたり、他利用者と会話を楽しまれたり、思い思いの場所で過ごせるように工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人やご家族の希望を伺い、使い慣れた物や写真を持って来てもらい、居心地良く過ごしていただけるよう工夫をしている。</p>	<p>居室はエアコン・ベッド・整理棚が設置されている。テレビ・時計・暦・衣装ケース等が持ち込まれており、賞状が壁に掲げてある。小物や家族写真も置かれ、加湿器を置いている利用者もあり、居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内では、トイレや居室が分かるようにしている。また個々の身体の状態に合わせ、生活リハビリを取り入れ、自立した生活ができるよう支援している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない